

カナダの落葉果実事情(リンゴ)

米国農務省GAINレポート 2024年11月7日

これは米国農務省海外農業局オタワ事務所(カナダ)が作成した「落葉果実年次報告書」のリンゴの項の一部を翻訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

表1 カナダの生鮮リンゴの生産需給統計

注:「当事務所今回推計」は当事務所の推計であり、米国農務省の公式データではない。

リンゴ 生鮮 カナダ	2022/2023		2023/2024		2024/2025*	
	販売年度は7月～翌年6月					
	米国農務省 公式	当事務所 今回推計	米国農務省 公式	当事務所 今回推計	米国 農務省 公式	当事務所 今回推計
生産量	376,023	377,814	365,000	363,592	0	382,000
輸入量	184,900	184,894	170,000	163,872	0	160,000
総供給量	560,923	562,708	535,000	527,464	0	542,000
国内消費量	498,523	500,303	480,000	470,132	0	480,000
輸出量	62,400	62,405	55,000	57,332	0	62,000
総仕向量	560,923	562,708	535,000	527,464	0	542,000

単位はトン / *は当事務所の予測値

生産

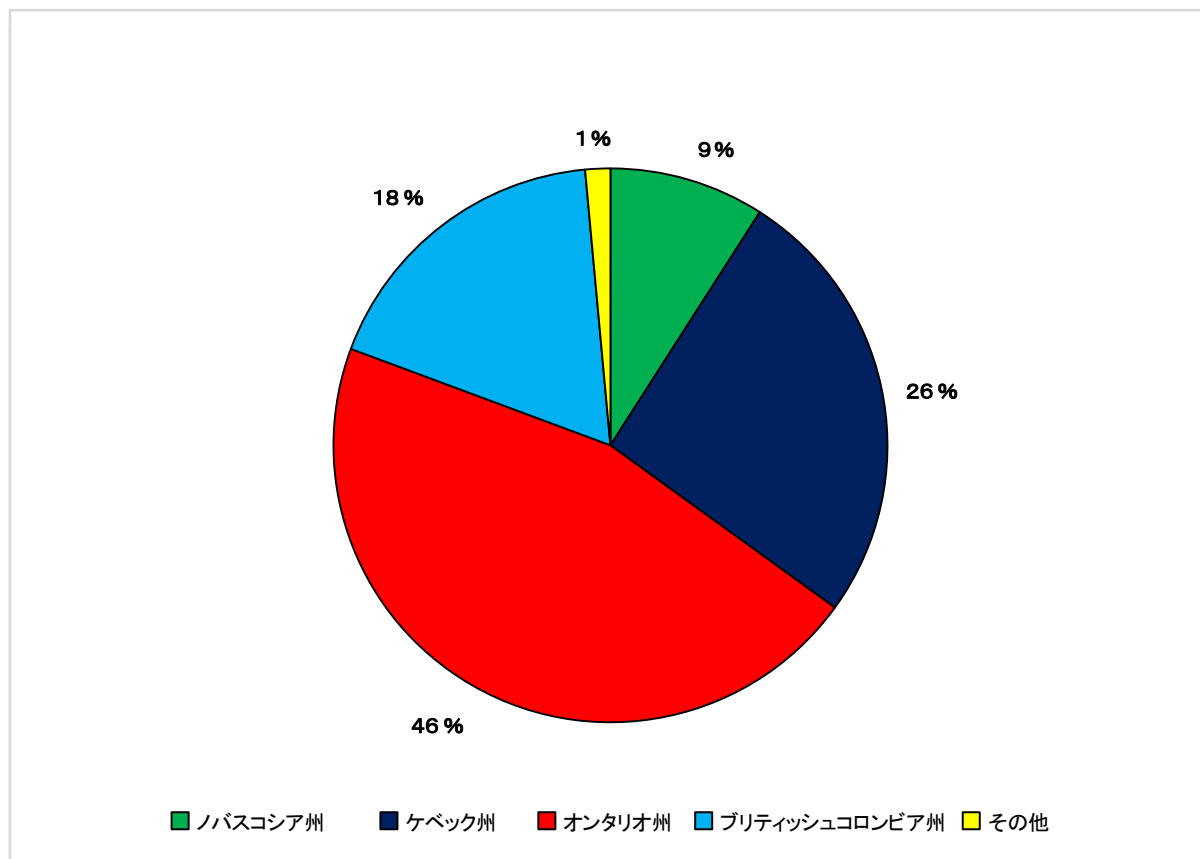
当事務所は、2024/25年度のカナダのリンゴ生産量が5%増加すると予測する。初期の収穫量予測では、カナダの生産量は6.5%増加し、地域別ではオンタリオ州、ケベック州、ブリティッシュコロンビア州では2023/24年度よりも増加するが、沿海諸州ではノバスコシア州で減少し、ニューブランズウィック州では横ばいと予測されていた。オンタリオ州、ケベック州、ブリティッシュコロンビア州は、カナダの主要なリンゴ生産州であり、通常、カナダの生産量の約90%を占めている。

オンタリオ州は、カナダのリンゴの総栽培面積の3分の1以上とリンゴ生産量の半分近くを占めている。密植栽培により、1エーカー当たりの収量が多い。オンタリオ州の多くの産地で降った大量の雨は、サイズと色の良好なリンゴの収穫に繋がると報告されている。ただし、一部の地域での過剰な水分量の結果として、最終的な収穫量は2023/24年度に比べてわずかに減少する可能性がある。地域差はあるものの、霜と雹がオンタリオ州全体の作柄に大きな影響を与えたとの報告はない。

リンゴは保存が利くため、2023/24年度の米国ワシントン州産リンゴの豊作は、今でもその影響が続いている。価格は抑制されており、少なくとも1月までは低い水準で推移すると予想されている。7月の貯蔵量レポートでは、オンタリオ州の貯蔵庫に大量の在庫が残っており、2023年7月の貯蔵量データを約90%上回った。

2023年に連邦と州の連携の下で発表された資金供与は、一部の栽培面積をより持続可能な品種や変化する消費者の嗜好に合った品種に転換することを支援している。

図2 カナダの州別リンゴ出荷量(2023年)



出典: カナダ統計庁

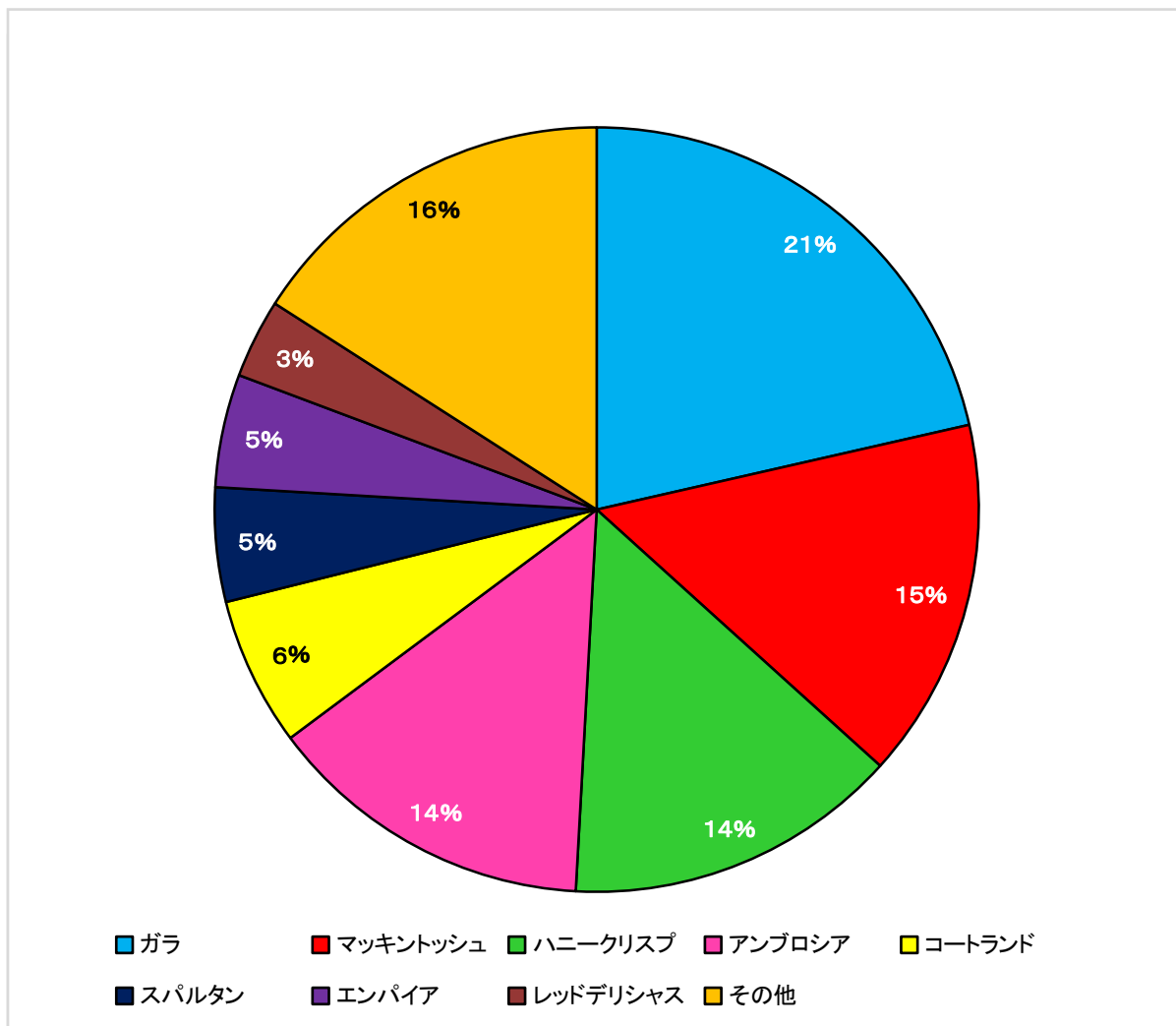
ケベック州の2024/25年度のリンゴの収穫量は、前年度の生産に悪影響を及ぼした霜害からの回復により、大幅に増加すると予測される。雹害が限定的であったことと時宜を得た降雨により、収穫量は5年平均を大きく上回り、過去15年間で最大となることが予想される。ケベック州の生産者らは引き続き、園地を近代化し、アンブロシア、ハニークリスピー、ガラ等消費者に好まれる品種の栽培を増やす機会を模索している。ケベック州はカナダで最大のマッキントッシュ品種の栽培面積を有するが、この品種は青果用としてはもはや消費者に人気がない。収穫量を考慮すると貯蔵が課題になる可能性があり、結果的に、より多くのリンゴが加工に仕向けられるか、州外に移出されると見られる。オンタリオ州の作柄は、生産量としては平均的であるが、サイズと色は良好であると予想される。一部の産地では適切な時期に降雨があったが、他の地域では過度に雨が多かった。ブリティッシュコロンビア州のリンゴの収穫量は平均的と予想されており、リンゴの木は2024年1月の寒波をナシやブドウよりもうまく乗り切った。

初期の見通しでは、2023/24年度のブリティッシュコロンビア州の生産量は増加すると予想されていたが、現在は平均程度に留まると予測される。2021年のヒートドームや近年のその他の悪天候の影響が依然として続いており、果樹の生産性を抑圧している可能性がある。ブリティッシュコロンビア州の産地では、2024年に極端な寒波に見舞われ、ベリー類やブドウの収穫量が激減したが、リンゴ園は健闘した。ただし、生産物は量的には平均程度であるが、果実のサイズと品質には問題がある。

さらに、州内のCA貯蔵庫を有する梱包出荷業者の1つであるブリティッシュコロンビア果樹協同組合が、7月に即刻の閉鎖を発表した。この閉鎖により、多くの生産者は、次の収穫のための梱包出荷業者を失い、CA貯蔵庫が利用できなくなった。伝えられるところによると、生産者らは他の業者の梱包ラインへのアクセスは確保できるが、CA貯蔵へのアクセスが問題になる。一部の生産者は、米国ワシントン州の貯蔵庫へのアクセスを確保しようとする可能性があり、ワシントン州の不作はそれを容易にするかも知れない。

現在、CA貯蔵のオプションが限られているため、生産者がリンゴを長期貯蔵する能力が不足しており、2024年の年末までに大量のリンゴが販売される可能性がある。そうなれば、2025年1月以降、ブリティッシュコロンビア州の小売業者と消費者の需要を満たすために輸入の必要性が高まると見られる。2024年末までの市場での販売量の増加も、引き続き価格に悪影響を及ぼす。

図3 カナダのリンゴの品種別推計生産量シェア(2023年)

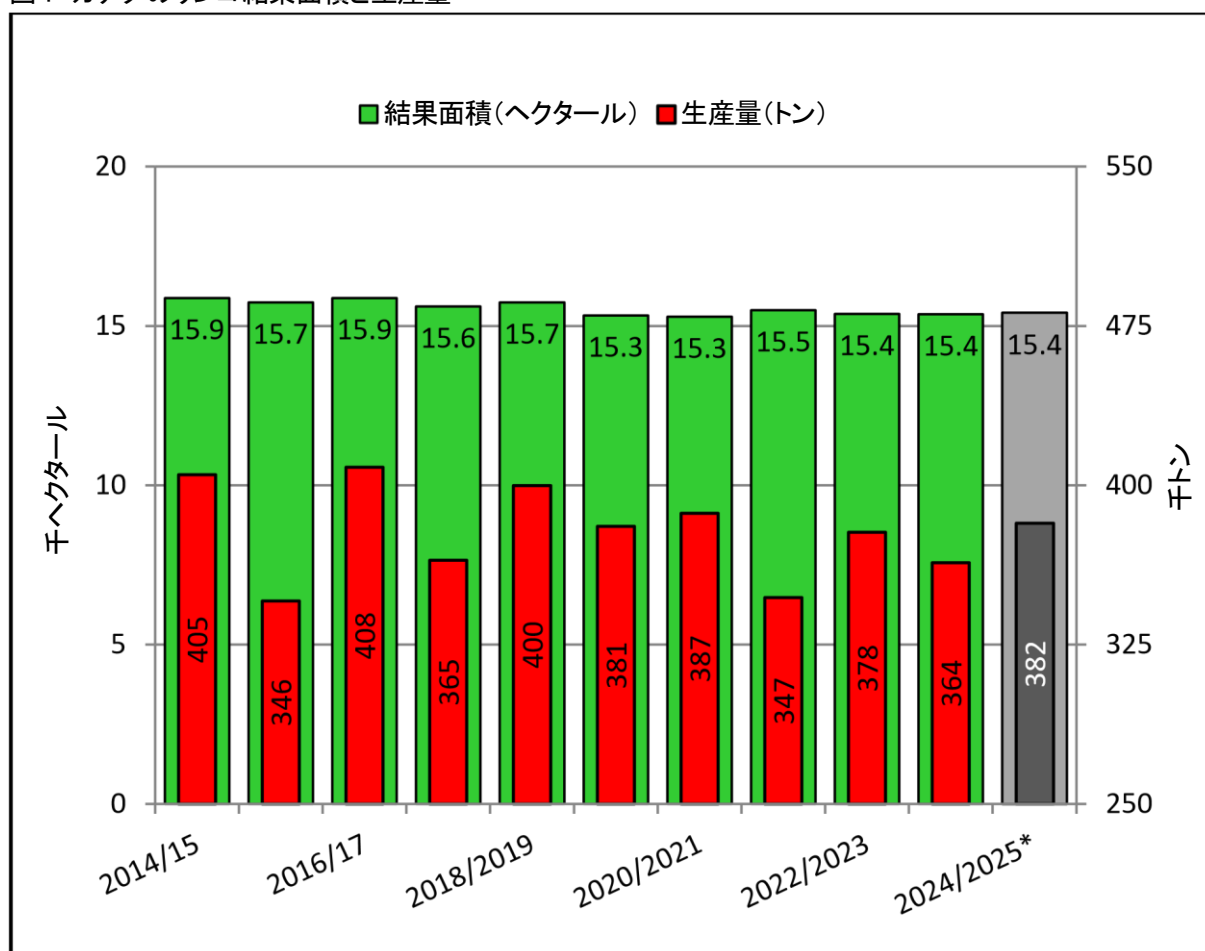


出典: カナダ果実野菜生産者協会 早期作柄予測調査

当事務所は、2024/25年度の栽培面積を横ばいと予測する。ブリティッシュコロンビア州のリンゴ生産の問題を考慮すると、同州の栽培面積は今後数年間減少が続く可能性があるが、2024/25年度は横ばいと予測する。近年の気象現象による他の品目への被害を踏まえ、果実業界は同州の将来の生産について検討している。高い地代と生産コストの上昇に価格の低迷が加わって、リンゴ業界を圧迫し続けている。国内の他の地域の栽培面積の変化は、2024/25年度には差し引きで増減が無いと予想され、古い果樹園が改植され、マッキントッシュに代わってアンブロシア、ガラ、ハニークリスピの栽培面積が増えると予想する。

労働力の確保は業界にとって引き続き課題であり、一方カナダの消費者は、全般的なインフレを上回る食品の価格上昇など、生活費の上昇に対して引き続き懸念を示している。小売業者や生産者は、消費者のためにコストを低く抑えるというプレッシャーに直面しているが、生産コストが高騰する中、生産者は効率を改善する方法を見つける必要があり、さもないと生産コストの増加によって収益が減少する可能性がある。

図4 カナダのリンゴ結果面積と生産量



出典: カナダ統計庁 / *は当事務所の予測

輸出

カナダの生鮮リンゴの輸出量が生産量に占める割合は、2019/20年度以降増加した。生産量に占める輸出量の割合はかつては約10パーセントであったが、過去5年間の平均は13%であり、過去3年間では15%を超えている。カナダ国内の加工能力が限られているため、品質上の問題が多い年には、輸出に仕向けられる加工用のリンゴが増加する。オンタリオ州のリンゴの品質が高いこととケベック州のリンゴが大量にあることから、当事務所は2024/25年度のカナダのリンゴ輸出量は8%増加すると予測する。生産量全体に占める輸出の割合は、比較的安定的に推移すると見られる。

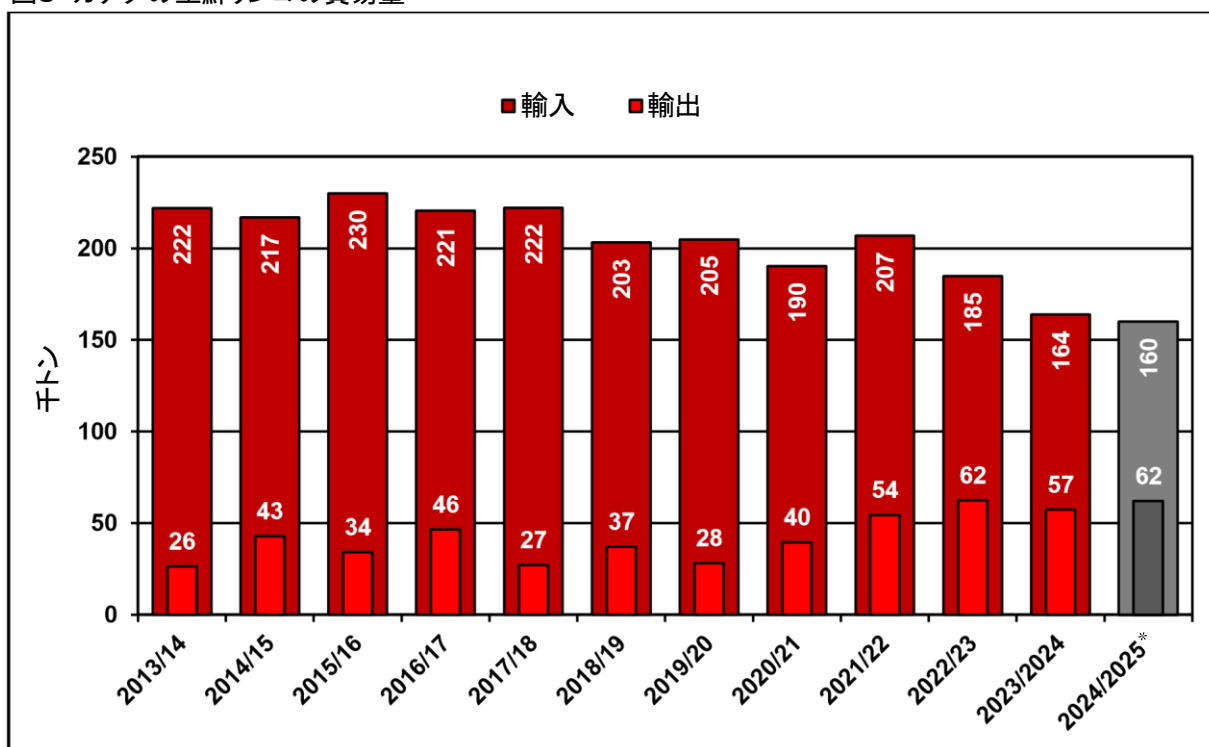
カナダは、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)への参加により現在無税となっているベトナムへの輸出量を引き続き増やすべきである。また、米国の収穫量の減少により、通常は米国の輸出市場である一部の外国市場における品不足をカナダの輸出業者が埋める機会を得る可能性もある。カナダとインドの間の地政学的な緊張と、米国からインドへのリンゴ輸出に対する追加関税の撤廃により、カナダはインドで得ていた利益を失った。これは2024/25年度も続くと思われる。地理的に近接していることから、米国は引き続きカナダの輸出にとって重要な市場であると考えられる。

表3 カナダの生鮮リンゴ輸出品

		カナダ 生鮮リンゴの輸出品					
販売年度: 7月～6月/数量(トン)		2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24
世界		37,072	28,177	39,536	54,475	62,405	57,332
	加工用	20,320	15,445	20,534	20,071	24,064	19,641
	その他	16,752	12,732	19,001	34,404	38,341	37,691
米国		22,896	14,802	20,887	21,548	24,771	22,430
	加工用	14,560	10,382	15,770	16,392	20,223	15,967
	その他	8,335	4,420	5,118	5,156	4,548	6,464
ベトナム		2,220	5,051	9,608	8,645	23,365	31,692
インド		0	0	0	2,702	4,198	1,170
キューバ		3,367	5,787	975	1,564	1,210	646
その他の国		8,589	2,537	8,066	22,718	13,059	2,564

出典: Trade Data Monitor

図8 カナダの生鮮リンゴの貿易量



出典: Trade Data Monitor / *当事務所の予測